

第一回配布資料  
 就職氷河期世代支援に係る全国プラットフォーム

生活費や資金の負担が当事者の足かせにならない資金支援を実現してください

- ▶これまでの若者支援の経験から、利活用が無料であっても交通費等の実費負担ができずに支援を受けられないひとがたくさんいます。
- ▶就職氷河期世代の中には親の資金に頼ることができず、貯金等の資力に乏しい当事者がおり彼らにとって政府の施策に乗りたくても乗れないひとたちが取りこぼされます。
- ▶就職支援、職業訓練を十分行うにあたって、現状の仕事を止めることは収入がなくなることを意味し、正規雇用になってからも最初の給与までにはタイムラグが発生します。

社会参加支援は、当事者が参加したい社会とつなぐことを前提にしてください

- ▶政府が準備した社会参加の場に当事者をつなぐ意図は、必ずしも当事者が参加した社会であるとは限りません。
- ▶地域若者サポートステーション、NPO等民間の就労支援や居場所が有効であることもあります。
- ▶しかし、例えば、当事者が作る自助的活動やコミュニティに根差した参加機会など、さまざまな社会資源が、当事者にとって参加したい、つながりたい場所につながる仕組みを作ってください。

当事者の多様なニーズに応えやすい柔軟な仕様、予算設計にしてください

- ▶若者支援機関に来る若者および当該世代のニーズだけでも非常に多様です。
- ▶支援施設は、やることを先に決めるのではなく、当事者のニーズに柔軟に応えられる設計にしてください。
- ▶そのためには事業費等に柔軟に活用できる予算枠を確保してください。

支援機関の利用目的

